



平成26年3月1日発行
発行所
滋賀県立彦根東高等学校
金 亀 会
滋賀県彦根市金亀町4-7
TEL & FAX0749-23-0888

印刷所
株 ヒ コ ハ ン
彦根市城町1丁目4-12

金亀会報



▲スタンド燃える 野村宗一氏（東3回）撮影



◀耐震改修工事が完了した1号館

◀東側渡り廊下から1号館をのぞむ



◀木目が鮮やかな教室



◀落ち着いた雰囲気の図書館



ご あ い さ つ

金龜会会长 細 江 正 人

金龜会会員の皆様方におかれましては、ご清祥でご活躍のこととお慶び申し上げます。

昨年5月の総会において再選していただき、引き続き25・26年度会長を務めさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

母校は野球部が平成25年夏の甲子園大会出場の快挙を成し遂げました。試合期日の迫る中、急遽応援寄付のお願いをいたしましたところ大勢の会員から多額の寄付をいただきありがとうございました。



ご あ い さ つ

滋賀県立彦根東高等学校長 善 住 喜太郎

より生徒・保護者からの要望も高く、昨今の気象状況を鑑みて必要と考えられておりました。膳所高校始め他の進学校では現在既に同窓会等による整備が進んでいることから、我が校もこの設備更新工事に合わせた空調設備の設置を進め、学習環境を整えてやりたいとの考えからPTAを中心に実施されております。

全県一区の昨今、先輩として、多くの後輩が本校を目指し、文武両道

の赤鬼魂を引き継いでくれることを願い、できる限りの環境整備はして

おきたいと考え、甲子園応援寄付の余剰金のうちから、また金龜会常任理事会の議を経て基金から空調設備整備の支援を行いたいと思います。

また、来る創立百四十周年と耐震改修・設備更新等一連工事の竣工を

埋め尽くすことができました。

花巻東高校HPには「09年の選抜で最優秀賞に輝いた彦根東の応援は

援は脅威であり、8回には応援の力

で逆転されるのはという恐怖さ

感じた」とも書かれています。重ねて心より厚く御礼申し上げます。

さて、母校を特別史跡彦根城内に

存続させながらの耐震改修・設備更

新工事の内、第一本館・図書館、武

道場及び銀杏会館が平成25年度事

業として完了し、平成26年度から

二本館など残る校舎等の工事にかか

ります。これら工事の養生シートの

ために風通しが悪くなり、夏休み中

の自習にさらに支障の出ることが懸

念されています。

県費では整備されることのない普

通教室の空調設備については、以前

申しあげます。

本校の教育活動にご理解とご協力を

いただいている、誠にありがとうございます。

今年度の東高の状況等について説明をさせていただきます。

今年度も本校は全日制8クラス、

定時制1クラスの新入生を迎え、全

日制955名、定時制114名、あ

わせて1069名でスタートしまし

た。教職員は全員あわせて78名とな

りました。

本校生徒にとって、この夏は忘れら

れません。

これまで、今では新装となつた校舎と真

白な壁と腰板の木目が目に鮮やかで、

以前よりも明るくなりました。

そして、その天井には埋め込み式のクー

ラーが設置されました。このクーラーは、今年度、PTAが工事の進捗

状況に合わせて迅速かつ強力に設置

されました。また、開幕部も女子団体

でベスト4に進出しました。ただ何

と言つても夏のハイライトはやはり

野球部で、7月29日に雨中の県大会

決勝戦を制し、悲願の夏の甲子園初

出場を成し遂げてくれました。出場

決定後は、3年生の合宿学習会や模

擬試験を実施しながら全校で応援の

準備と練習にあけくれ、あつ

いう

間に8月13日、初戦の花巻東高戦を

迎えました。惜しくも初勝利はなり

ませんでしたが、学校・保護者・全

国のOBや金龜会会員と地元の方々

で組織した「赤備え」の大応援団が

アルプス席を真っ赤に染めました。

東高新区キマグレ第925号には今

も「日本一の文武両道に向けて」の

見出しが踊っています。

また、今年度は、耐震改修工事が

本格化した関係で学校の様子が変わ

りました。4月から学校正面の第一

本館が改修工事に入り、周囲はすっ

ぱり足場とシートで覆われました。

正門は閉鎖され、事務室、校長室、

職員室、図書館と3年生の教室はグ

ランド奥の仮設校舎に移りました。

グランドは臨時駐車場もとつたため

幼稚園の運動場ぐらいの広さしかな

くなりました。また、仮設校舎と1、

2年生の教室がある第二本館の間は

115メートルもある仮設通路で結

ばれ、生徒も教員も小走りで授業に

行く毎日を過ごしました。一方、体

育館の横には木造の特別教室棟が昨

年度完成して、家庭や音楽の授業は

ピカピカの教室で受けることになり

ました。

年末には第一本館の覆いが取り外

されました。

以上、本校の状況について説明さ

せていただきましたが、東高の輝か

しい伝統を継承、発展させることは、

様々な方の力を借りなければで

きないと痛感する毎日です。金龜会

の皆様のご健康とご活躍をお祈り

いたしますとともに、今後とも変わ

らぬご支援を賜りますよう重ねてお

願いいたします、ごあいさつとさ

せていただきます。

恩師だより

東高に勤務した思い出

小林道男



先生は昭和16年大津市に誕生され、昭和35年に膳所高校を卒業、その前年の10月にお父さんが亡くなり、その結果社会人生を経験された後、関西大学文学部に入学、昭和42年に卒業され、すぐに教職に就かれました。新任は長浜北高校で5年、昭和47年より彦根東高校で12年、昭和59年より東大津高校で10年、平成6年より大津商業高校で8年、それぞれ勤務され平成14年に退職。退職後も引き続き4年間は再任用(1年)や非常勤講師(3年)として教壇に立たれ、計39年間にわたって湖北・湖東・湖南・湖西の各学校を県内半周するかたちで勤務されました。

現在は、畑で野菜を作ったり、家の近辺の大工仕事をしながらお元気にお過ごしです。

はじめに

長浜で教職に就いて五年目、結婚を機に、里心で大津地域への転勤を希望していたところ、翌47年、意外に彦根東高校への異動辞令をいたしました。県下の一の伝統校に、駆け出し教師で勤まるのかと自問しながら初出勤した日のことを思い出します。

四月、桜の季節というのに駅前通りに観光客の姿はちらほら、どこかの屋に決めました。彦根での生活はすぐ訪れた冬の寒さや降雪も湖北に比べれば全く苦になりませんでしたが、子どもが風邪をこじらせた時は、近くに頼る身内がなく困り果てました。しかしこんな時、夜間の急患にもかかわらず、金龜会会員で生徒の保護者でもあつた近所のお医者さんが、親身に治療して下さりとても助かりました。そんなことから翌年の夏には大津に帰り、膳所本町の自宅から



ヨット部顧問として（昭和54年）

つからず、やつと口になつて地域に詳しい先生のお世話を、本町の長屋に決めました。彦根での生活はすぐ訪れた冬の寒さや降雪も湖北に比べれば全く苦になりませんでしたが、子どもが風邪をこじらせた時は、近くに頼る身内がなく困り果てました。

通勤することにしました。彦根の生活は一年たらずでしたが、この間、故郷と同じ城下町の人情に触れ、地域の方々にも心温かく接していました。いた記憶が、今もつて感謝の念とともに鮮明に蘇ります。

長屋は街の中心地域にありながら騒音とは無縁で時折学校のチャイムが伝わってくる以外、閑静な環境で学校潰けの毎日を過ごしていました。休みの日は子守がてらに城内をあちこち歴史散歩していました。翌春には濠端の雑草地でウマノスズクサを見つけてジャコウアゲハの産卵を目撃したり、柑橘類に飛来するカラスアゲハやモンキアゲハを探しながら、学校周辺の自然観察をしていました。小さな命を健やかに育んでいる豊かな自然にまざる学習環境はないと思つていたので、新たにしたものです。

「先輩のことば」

最初の校務分掌は進路関係で、進学指導係（就職関係は職業指導係が担当）でした。IT（情報技術）という言葉がまだ一般的でなかつた時代、進路指導室にはすでに生徒の個人成績が集中的にコンピューター処理され効率よく蓄積されていましたから、このデータをタイミングよく進路選択に役立つ冊子にして、情報を提供する仕事に関わりました。「星取り表」を中心とした進路資料第1

教育環境との出会い、その場で東高が全国屈指の学校であることを実感していました。青葉若葉が目にしめる五月の空気は校歌の歌い出し通り東高の素晴らしい環境を誇らしげに実感させてくれました。当時、創立記念日行事として旧港湾で開催されていたボート大会では、団長以下三年生が指揮する応援で、名物の応援歌とともに校歌が熱唱されていて、リーダー達の蛮声からは東高生の自信を感じました。また

「近頃の生徒は校歌を歌わなくなつた」と話される他の校の先生の声を耳にしていた時に、「なつた」とだけに、寂しくなつた」と話されただけに、氣合いを込めて校歌が齊唱されていた様子から、伝統の力強さを感じました。この時季、新生は先輩達と交流して、正直の東高生へと脱皮していました。



アルバム委員を指導する先生（昭和53年）

東高生の心意気

東高を離れて30年、最近のことは新聞やテレビ報道で知るばかりでしたが、この夏は皇子山球場で高校野球決勝戦を観戦し、久々に東高生の熱気を直接肌で感じました。また初めて夏の甲子園一県一校出場制になった昭和53年、当時、生徒会係で応援団の留守役のため学校に居残りテレビ観戦をしていましたが、第60回記念大会の県決勝戦では逆転負けをして夏の甲子園初出場ならず、悔しい過去があつたことを思い出していました。あれから35年、県大会を制して悲願達成。記録的猛暑になつたこの夏、四年前の春に続いて再び甲子園の応援スタンドを真つ赤に染めた光景は、私にとって最高の清涼剤となりました。滋賀にはびわ湖ブルーとともに、彦根東の赤鬼魂が健在であることを全国に力強く印象づけました。東高生の心意気、「文武両道」ここにあり。今後とも東高生のさらなる活躍を期待し、彦根東高校の益々の発展を祈念する次第です。

城下町の心情

先ず時間的にゆとりをもつため、住居を彦根に移すことにしました。子連れ家族の借家探しはなかなか見

集、第2集の「先輩のことば」等々の作製を通して、東高生の実力を客観的に把握できました。卒業直後に高校生活を顧みて書き送ってきた感想文を「先輩のことば」にして編纂するための原稿選考では、学習と部活の両立に励んでいた者、自学自習で忍耐強く努力していた者など、意欲的に学生生活を送っていた生徒の体験文を数多く読みました。進路資料は東高を理解する上でも大変参考になりました。

二年目以降の11年間はずつとHR担任をして、三度卒業生を送り出しました。卒業生からは今も便りを頂くことがあります。教師冥利につきの意欲的に学生生活を送っていた生徒の体験文を数多く読みました。進路資料は東高を理解する上でも大変参考になりました。

高校生活を顧みて書き送ってきた感想文を「先輩のことば」にして編纂するための原稿選考では、学習と部活の両立に励んでいた者、自学自習で忍耐強く努力していた者など、意欲的に学生生活を送っていた生徒の体験文を数多く読みました。進路資料は東高を理解する上でも大変参考になりました。

記念講演

—増島六一郎の生涯に学ぶ—

福原 紀彦 氏(東2)



ある。言い換えれば、その時はとても役に立つとは思っていないことが、将来役に立つことである。それは「行動する知性」とも言える。細切れの知識や技能は、その後、知性になり、そして社会性や公社会性を帯びた志（こころざし）になる。

予算案が審議され、何れも全会一致で承認されました。また、役員改選については、会長より副会長の橋本貢治氏を監査へ、彦根・湖東・湖北支部長の辻博史氏を副会長に推薦することが報告され、満場の拍手で新体制を選出しました。なお、平成25・26年度の金龜会役員は次のとおりです。

渡邊 僕子 東高17
戸所佐紀子 (東高18)
西田 一彦 (東高19)
佐竹 隆 (東高20)
川端 ち江 (東高21)
熊川 裕 (東高25)
安田 良介 (東高29)
金 皇 会 準 備 並 び 二 懇 見 会

江漬物「鮭の佃煮」とふるとの味を酒のつまみにスターしました。

今年は『ふるさとを見直そう』のテーマで滋賀県にまつわるのクイズを行いました。優勝者は、「近江牛の味噌漬け」や「ふるさと寿司」が。皆さん悪戦苦闘でしたが、大変な盛り上がりよう、「このクイズを同窓会でやり

されました。会長・学校長の挨拶の後、議長に植田洋一（東12）氏を選出し議事に移りました。

澤	島津	市川	田原	宮元	直美	(東高16)	龍洋	義和	(東高13)	12
善住	喜太郎	彦根	東	高校	校長	(一)				
20)	から	ら	ご	挨拶	を	賜りまし				
懇親会は、	『ゆめ	ふらざ	滋賀							
の協力もあり、前回を上回る	の	多	め	未	未	未	の	多	め	未

金龜會總會

今年度の記念講演では、中央大学総長・学長の福原紀彦先生をお招きました。先生は昭和47年（東20回）に本校を卒業され、中央大学法学部・同大学院を経て、平成3年に杏林大学社会学部助教授、平成7年に中央大学法学院教授、平成23年11月には、最年少の総長・学長に就任されました。その他に中央大学硬式野球部部長・弁護士・防

郎の知遇をえて、イギリスの法曹養成機関であるミドルテンプルに留学、パリスターの称号を受けて法廷弁護人の資格をえました。帰国後、彼は弁護士（代言人）として仕事をするかたわら、東京大学や明治義塾で教鞭をとどめ、昭和23年に91才で亡くなるまで長期にわたつて法曹界で活躍することになります。

国に配布した例を上げて、
のグローバル化やユニバーサル化（大衆化）の中で、世界
勢である社会に出てからも、
に大学教育を受けられる制度的なわち通信教育や放送大
重要性が述べられました。

月	会	副	会	中村善一郎
" "	" "	" "	" "	(東高2)
計	計	長	正人	(東高13)
横田	安居	辻	原	幸男
大塚	大塚	辻	細江	(東高4)
植田			洋一	(東高12)
繼実	俊彦	恵昭	利信	(東高15)
(事務長	(東高29)	(東高7)	(東高20)	(東高17)

A large group photograph of the baseball club members, including faculty and staff, seated in rows on a patterned carpet in a hall.



金龜会総会

常任理事	事務局	理事	監査	会計
佐竹	川瀬	西野	橋本	辻安居
塚本	小島	堀江	横田	
野口	吉田	猪田		
佐竹	西村	杉本		
成内	速水	昌貢	勝彦	俊子
寺村	川瀬順	善裕	秀樹	継彦
佐竹	次郎	久仁	章嗣	(東高7)
鐵次郎	新悦	千春	(副校長)	(東高29)
長造	正昭	正昭	時男	実(事務長)
儀弥	(東高1)	(東高38)	(教頭)	
正夫	(東高2)	53	(副校長)	
(東高9)	(東高5)	38	(教頭)	
(東高8)	(東高6)	23	(副校長)	
7	5	23	(教頭)	

第96回平成25年度東京
金龜会総会並びに懇親会



7月7日は東京金龜会の日
今日は日曜で午後2時開催、
名の参加をいただきました。
総会は、まず会長に鷺見禎
(中60)、副会長に西村兼治(4)
4) 岡村美孝(東17)、幹事
に福永典明(東17)の人事案
が満場一致で承認されました。
これを受け、代表して鷺見
会長より所信表明を。統いて
賓の細江正人金龜会会长(東1

20) 善住喜太郎彦根東高校校長（元） 懇親会は、「ゆめぷらざ滋賀」の協力もあり、前回を上回る土の珍味「赤こんにゃく」「江漬物」「鮎の佃煮」とふるとの味を酒のつまみにスター、しました。

今年は『ふるさとを見直そう』のテーマで滋賀県にまつわるイズを行いました。優勝者に「近江牛の味噌漬け」や「ふ寿司」が、皆さん悪戦苦闘でしたが、大変な盛り上がりよう！ 「このクイズを同窓会でやりいので原稿を下さい」とのり、エストも。ふるさと滋賀を見て見直す良い機会となりました。恒例の抽選会も全員に当たり、好評でした。

次回は野球部の夏の甲子園出場を記念してのイベントを企画しております。お楽しみに。

その悲願の野球部夏の甲子園初出場は創部119年目、学園創立138年目の快挙でした。その模様をDVDにしました。映像は2009年の春の選抜会で惜しくも千葉習志野に負けたシーンから始まります。そして2013年7月29日雨の皇后山球場での近江兄弟社との決戦滋賀大会優勝。続く8月8日の栄えある開会式での入場行ないよいよ決戦の8月13日、相手は東北の強豪花巻東。手に汗じる戦いは赤鬼魂が球児達に乗り移り大きな攻撃に。大応援団、球児達の熱狂と感動を35分のV Dにしました。このまたいい記念DVDを金龜会会員限りで、送料込みの一枚千円（複数枚希望も可）で配布いたしました。ご希望の方は郵便局ATMの

関西金龜会では、「歴史街道歩こう会」と「ゴルフ同好会」の二部会が、各会の幹事様にお世話を戴き、常日頃から盛んな活動しております。

まず、「歩こう会」では、毎回百名を越える非常に多くの会員の方々にご参加いただいており、昨年も例年に引き続き、盛況に活動致しました。

平成二五年五月に開催されました第二回は、「大和路・狭

関西金龜会

事務局長 川村俊明（東14）

色の払込取扱票で口座記号：00170-190916 加入者名：で記入 741916 口座番号：（右詰） 東京金龜会、金額欄に枚数分の 金額と、通信欄におこりる、おなまえ、電話番号、メールアドレス（あれば）をお書きいただき 郵便局（ゆうちよ銀行）にてお振込くださいませ。記念DVDをお送りさせていただきます。

お問い合わせは東京金龜会幹事長福永典明の携帯090-3346-2881かメールアドレス noriakif@mx4.mesh.ne.jp まで

城盾列古墳群と平城京を訪ねる
のテーマのもと、平城京北側に
点在するさまざまな天皇陵・皇
后陵をまわりました。また、平
城京跡歴史公園では、「天平祭」
開催の時期ということもあつて
お祭りムードに沸く宮跡を楽し
むことが出来ました。

同年十月に開催されました第
二二回のテーマは、「あまり知
られていない大阪城の秘話探訪」
でした。ボランティアガイドの方々にガイドツアーをお願いし
敷地内をまわりながらさまざまなお話を聞きすることが出来ました。
写真はこの時撮影したもので
す。

次に、「ゴルフ同好会」ですが
こちらも、会員の皆様のご協力の
のもと、毎年コンペを開催して
おります。

平成二五年度は天候の関係に
より、五月に一回の開催となり
ました。れいせんゴルフ俱楽部
にて、九名の方々がコンペに参
加され、暖かな春の陽気の中、
和気藹々とゴルフを楽しみまし
た。

なお、本年は二年に一度開催
致しております、関西金龜会の
総会がございます。日程は六月
二十一日(土)十二時より、本
テル阪神10階ボールルームにて
行います。ゲスト講師には、東
十四回卒業生の岩根順子さんを
お招きする予定です。会員の皆
様のご参加を心よりお待ちして
おります。

関西金龜会では、今後も学年
幹事会中心に各活動内容を検討
し、より多くの会員の皆様に楽
しんで御参加いただけるよう、
活動を続けていきたいと考えて
おります。

東海金龜會
近況報告

事務局長 車戸彬邦（東6）



本年度は東海金龜会役員の改選年にあたり、六月の定期総会（六月十六日、名古屋国際ホテルにて開催）で寺倉幸夫氏（東四）が会長に再選されました。また、副会長・会計・会計監査・幹事の各役職も、再任されました。寺倉会長の意向もあり、「若い世代」と「女性」のアイデアをもつと反映するため、池田清氏（東八）谷内伸治氏（東十二）、木村百合子氏（東二十）が新しく幹事に新任されました。現在、東海金龜会は百六十数名の会員が登録されています。会員の高齢化は否めず、新しい会員の参加を勧誘いたしておりましたが、芳しい結果が得られておりませんでした。

本年八月に母校の硬式野球部が念願の甲子園初出場を果たしてくれまして、東海金龜会も微力ではありましたが、東海地区に在住の彦根東高校卒業生に、積

極的に甲子園に出向いてアルプススタンンドで応援に参加して頂く入場券の仲介。若し、それが不可能な場合には、母校支援の為のご厚志お願いしたいと、全亀会本部とは別にお願いを致しました。

応援の為のバスを企画したり新幹線ツアーや企画するだけの時間的余裕もありませんでした。が、多くの東海地区在住卒業生（東海金亀会会員以外の卒業生も含めて）の参加があつたと聞いております。その後、当地在住の卒業生の皆さんに、金亀会本部が進めています卒業生名簿の住所を頼りに東海金亀会への参加勧誘をさせていただきましたところ、二十数名の方々から参加の意向を受けました。

母校硬式野球部の活躍が、母校と卒業生の求心力を高めるという、予想外の効果をご報告したいと思います。

東海金亀会は、会員相互の年代差のない親睦を深めるため、昨年まで、年二回のゴルフコンペを実施いたしておりました。本年は、このゴルフに加えて会員家族の参加も可能な、東海地区の歴史探訪ウォーキングを関ヶ原で実施いたしました。幸い好天に恵まれ、二十五名の参加がありました。企画した場所も良かったこともあり、滋賀県米原市在住の母校卒業生の参加もあり、県境を越えた和気藹々の散策をいたしました。

辻支部長挨拶の後、支部会員である善住校長先生から、母校の現状や取り巻く環境について、詳しいお話をうかがいました。

『高宮川 天狗の酒盛り』といふ題目。その名の通り宿場町・華さんに、ご披露いただいたのは、うお題目。桂文華さんを招いて、およそ一時間で二高座を楽しみました。桂文華さんは、『高宮川 天狗の酒盛り』といふ題目。その名の通り宿場町・華宮を舞台に、喜六と清八が繰り広げるドタバタ珍道中。才子が才子だけに、食事前で気を遣いました。大いに笑った後は懇親会で舌鼓。

ユーラクホテルにおいて、彦根・湖東・湖北支部恒例の「秋の集い」を開催しました。

辰巳 美英語
藤田 延代 国語
高岡 利彦 野球部元監督
野球部後援会副会長

東4回(昭和31年3月卒
喜寿記念同窓会

彦根東四回卒の東海地区同窓会

寺倉幸夫(東4)



が年会だよ

みません。
美味しい料理を食べることも
楽しみの一つ、飲んで、喋る、
まことに暖やかであります。宴
会の中頃に、野球観戦の模様や
身近な出来事など恒例の各自三
分間スピーチ、日頃合唱団でコ
ーラスを楽しんでいる原澄子君
が「みあげてごらん夜の星を」
を披露。澄み切った若々しい歌
声に聴き惚れているうちに予定
の時間を遙かにオーバー。最後
に校歌を合唱、来年十月十五日
に、全員元気な姿で再会するこ
とを約束して散会した。

一ラスを楽しんでいた原澄子君
が「みあげてごらん夜の星を」
を披露。澄み切った若々しい歌
声に聴き惚れているうちに予定
の時間を遙かにオーバー。最後
に校歌を合唱、来年十月十五日
に、全員元気な姿で再会するこ
とを約束して散会した。

集合、解散と言う段取りで実施
いたしました。天候にも恵まれ
ゆつたりしたバス(2台に分乗)
旅行で3時間の談笑は卒業後約
57年の経過をうずめるに十分で
した。

途中ナイフビレッジなどに寄
り山代温泉に到着。夜の宴会で
は橋詰功君の江戸かつばれ、原
田弘一君のマジック、平川八重
子さんの詩吟の披露など日頃鍛
えた芸が会場を魅了し、常連の
カラオケの時間が短縮されると
言う盛り上がりでした。最後に
母校応援歌、校歌の大合唱でお
開きとなり、5、6人づつ部屋に
分かれて修学旅行を思い出しな
がら夜のふけるのを忘れました。

翌日は金沢・兼六公園を健康保
険証、運転免許証など提示し無
料で見学。高齢者であることを
再認識しながら近くのレストラン
で昼食、近江町市場などと定
番のコースをたどって午後5時
前全員無事米原に帰着いたしま
した。帰路のバスは参加者の顔
が5歳若返ったように感じられ、
楽しい旅であったと口々に挨拶
しながら解散いたしました。



に暫く我を忘れる一時でした。
宴も佳境に入ったころ今度は
北村(耕)さんによる「江州音
頭」が披露され会場一杯に踊り
ました。

閉会の辞では、酒井幹事から
赤鬼魂は不滅であるとの言葉が
あり午後3時半過ぎにお開きと
なり、続いて希望者のみの二次
会が持たれカラオケ等を楽し
んだあと散会しました。

翌7日(月)は有志で2班に
別れて1班は参加者19名で彦根
カントリークラブに於いてゴル
フコンペを実施、2班は参加者
18名で近江八幡巡りを実施、八
幡山の村雲御所・西本願寺八幡
院などを見学しました。

次回同窓会の開催は2年後の
平成27年に京阪神グループの担
当で実施する予定です。

なお、「彦八会」のHPを次
ぎのとおり開設しておりますの
で詳しくは中島正彦さん(09
0-7092-6041)へお
問い合わせ下さい。アドレス・
http://hiko8.web.fc2.com/

「彦八会」同窓会

—不滅・赤鬼魂—

塚本儀弥(東8)



東五会同窓会開催報告

大森修太郎(東5)

東高第5回卒業同窓会・東五
会は高貴高齢者(?)突入記念
に去る6月11・12日の両日にわ
たつて初めての一泊旅行を行い
ました。行く先は山代温泉。

今年、後期高齢者と言われる年
齢になつた彦根東高四回卒の東
海地区在住の同窓生が十一月二
十日、名古屋国際ホテルで懇親
会を開催した。病氣療養中の北
川房之介君と旅行中の馬渕凱夫
君を除き十五名全員出席。座席
はくじ引きで決め、宴会は加藤
伸一君の乾杯の発声で始まつた。
今回で十四回を数えるが話題
の中心は、母校が夏の甲子園出
場という快挙を成し遂げたこと
であります。健闘も虚しく初戦
で敗れましたが、卒業生の我々
にも勇気と活力を与えてくれま
した。母校の名を高めた功績は
大であります。原幸男君から後
援会とりまとめの苦労話や野球
部の選手が甲子園から帰るやグ
ローブをベンに持ち替え受験目
指して猛勉強していることなど
の報告がありました。志望大学
に全員合格することを祈つてや

初めてのことで企画も手探り、
参加も恐る恐ると言つた状態で
したが53名の参加を得て米原駅
当日は午前中希望者のみ一部

**新装なつた母校の見学会を西川
(常)さんのお案内で実施した後、**

午後1時頃会場をホテルに移し
て、前庭で彦根城をバックに全
員の写真撮影を行いました。

会は森・森田幹事両名の司会
進行で始まり、初めに53名の物
故者に対し1分間の黙祷を捧げ
た後、校歌斎唱を行いました。

続いて伊藤幹事から開会の挨
拶があつた後、女性幹事全員が
壇上に上がり文部省唱歌の「故
郷」を先導、これに合わせて総
勢81名の大合唱となりしばし童
心に帰つた次第です。

次に澤(洋)幹事から乾杯の
発声により宴会に移りました。
アルコールも入りティブル間の
異動も激しくなるなかで竹内さ
ん、黒沢さんの両名が狩衣姿で
壇上に樂人として登場し雅楽の
「越殿渠(えてんらく)」、「陪
臚(ぱいろ)」の二曲が龍笛に
より演奏されてその優雅な音色

**彦根東9回卒「36会」古希
記念同窓会の開催について**

佐竹 正夫(東9)

昭和36年に彦根東高校を卒業
した私達は、平成25年11月9日
(土)正午から彦根ビューホテ
ルにおいて「古稀記念同窓会」
を開催しました。

開催した時、次回開催の希望の
声が多かつたことから、70歳の
節目である古稀を記念して開催
したものでした。

当日は天候にも恵まれ、窓辺
に広がる美しい琵琶湖を背景に、
生バンドが奏でる東高校歌や応
援歌が流れる中を100余名の
懐かしい人々が集まり、寺村英
夫君の司会で開会されました。
まず、発起人代表の夏川亮介
君から挨拶があり、その後、同
窓の物故者への黙祷を全員で捧
げました。

乾杯は、当日の参加者で彦根
市から一番遠い長崎県佐世保市
に在住されている桟(かけはし)
都子さん(旧姓小倉さん)のご
発声で宴席が始まりました。
会場では、生バンドで「なつ
かしのメロディ」として、彦根
で口ヶがあつた「青い山脈」な
どを演奏して頂きましたが、前
日に亡くなられた島倉千代子さ
んを偲んで『人生いろいろ』を
みんなで歌うというハプニング
もありました。



同窓会をもたれる場合には寄稿の予約を是非お願いします。

こうしてあつという間に時が過ぎ、江州音頭の本場音頭町の音頭取りさんによる江州音頭が始まり、多くの同級生が踊りの輪をつくり楽しんでくれました。この後、若林清彦君が、中締めの挨拶をされ、生バンド演奏による校歌、応援歌のもと、次回の開催を祈念しながら、散会となりました。

こうして「古稀記念同窓会」もいろいろの想い出を残しながら盛会裏に終えることができました。次回の開催も、みんなが元気で再会できることを願い報告とさせて頂きます。

この後、若林清彦君が、中締めの挨拶をされ、生バンド演奏による校歌、応援歌のもと、次回の開催を祈念しながら、散会となりました。

こうして「古稀記念同窓会」もいろいろの想い出を残しながら盛会裏に終えることができました。次回の開催も、みんなが元気で再会できることを願い報告とさせて頂きます。



第11回卒50周年記念同窓会

大菅勝造(東11)

去る3月17日、我々卒業

生の卒業50周年記念同窓会が恩師瀧谷先生、善住校長先生をお迎えし、同窓生120名の参加のもとエクシング琵琶湖にて開催されました。今回は卒業50周年の記念事業として同窓生から寄附を募り、母校へボート三艇、新聞編集用品、体育館用暖房機の備品寄附をしました。



がいるとのこと。我々の寄贈したポートがお役に立てそうで嬉しい限りでした。

『祝卒業50周年』のくす玉わりに続いて増尾君の乾杯で宴会入場。青春時代の懐かしい曲の数々がエレクトーンの調べで流れ、大きな歓声が上がっていました。

宴もたけなわの中、現在も活躍中の川端 安藤、土川君のス

ピーチ、関西三八会、ゲンキ会、

三八ゴルフ会の現状報告があり、

終宴近くに校歌、応援歌の齊唱

の後、茂木次回代表幹事の挨拶。

次回の同窓会は三年後となりま

した。

同窓会は予定の時間が瞬く間

に過ぎ、琵琶湖周航の合唱

で第一部は閉会。第二部はグラ

ムや在校時の写真が映写され、

歓談が一層盛り上がりました。

プロジェクトで卒業アルバ

ムや在校時の写真が映写され、

歓談が一層盛り上がりました。

宴もたけなわの中、現在も活

躍中の川端 安藤、土川君のス

ピーチ、関西三八会、ゲンキ会、

三八ゴルフ会の現状報告があり、

終宴近くに校歌、応援歌の齊唱

の後、茂木次回代表幹事の挨拶。

次回の同窓会は三年後となりま

した。

同窓会は予定の時間が瞬く間

に過ぎ、琵琶湖周航の合唱

で第一部は閉会。第二部はグラ

ムや在校時の写真が映写され、

歓談が一層盛り上がりました。

宴もたけなわの中、現在も活

躍中の川端 安藤、土川君のス

ピーチ、関西三八会、ゲンキ会、

三八ゴルフ会の現状報告があり、

終宴近くに校歌、応援歌の齊唱

の後、茂木次回代表幹事の挨拶。

次回の同窓会は三年後となりま

した。

同窓会は予定の時間が瞬く間

に過ぎ、琵琶湖周航の合唱

で第一部は閉会。第二部はグラ

ムや在校時の写真が映写され、

歓談が一層盛り上がりました。

宴もたけなわの中、現在も活

躍中の川端 安藤、土川君のス

ピーチ、関西三八会、ゲンキ会、

三八ゴルフ会の現状報告があり、

終宴近くに校歌、応援歌の齊唱

の後、茂木次回代表幹事の挨拶。

次回の同窓会は三年後となりま

した。

同窓会は予定の時間が瞬く間

に過ぎ、琵琶湖周航の合唱

で第一部は閉会。第二部はグラ

ムや在校時の写真が映写され、

歓談が一層盛り上がりました。

宴もたけなわの中、現在も活

躍中の川端 安藤、土川君のス

ピーチ、関西三八会、ゲンキ会、

三八ゴルフ会の現状報告があり、

終宴近くに校歌、応援歌の齊唱

の後、茂木次回代表幹事の挨拶。

次回の同窓会は三年後となりま

した。

同窓会は予定の時間が瞬く間

に過ぎ、琵琶湖周航の合唱

で第一部は閉会。第二部はグラ

ムや在校時の写真が映写され、

歓談が一層盛り上がりました。

宴もたけなわの中、現在も活

躍中の川端 安藤、土川君のス

ピーチ、関西三八会、ゲンキ会、

三八ゴルフ会の現状報告があり、

終宴近くに校歌、応援歌の齊唱

の後、茂木次回代表幹事の挨拶。

次回の同窓会は三年後となりま

した。

同窓会は予定の時間が瞬く間

に過ぎ、琵琶湖周航の合唱

で第一部は閉会。第二部はグラ

ムや在校時の写真が映写され、

歓談が一層盛り上がりました。

宴もたけなわの中、現在も活

躍中の川端 安藤、土川君のス

ピーチ、関西三八会、ゲンキ会、

三八ゴルフ会の現状報告があり、

終宴近くに校歌、応援歌の齊唱

の後、茂木次回代表幹事の挨拶。

次回の同窓会は三年後となりま

した。

同窓会は予定の時間が瞬く間

に過ぎ、琵琶湖周航の合唱

で第一部は閉会。第二部はグラ

ムや在校時の写真が映写され、

歓談が一層盛り上がりました。

宴もたけなわの中、現在も活

躍中の川端 安藤、土川君のス

ピーチ、関西三八会、ゲンキ会、

三八ゴルフ会の現状報告があり、

終宴近くに校歌、応援歌の齊唱

の後、茂木次回代表幹事の挨拶。

次回の同窓会は三年後となりま

した。

同窓会は予定の時間が瞬く間

に過ぎ、琵琶湖周航の合唱

で第一部は閉会。第二部はグラ

ムや在校時の写真が映写され、

歓談が一層盛り上がりました。

宴もたけなわの中、現在も活

躍中の川端 安藤、土川君のス

ピーチ、関西三八会、ゲンキ会、

三八ゴルフ会の現状報告があり、

終宴近くに校歌、応援歌の齊唱

の後、茂木次回代表幹事の挨拶。

次回の同窓会は三年後となりま

した。

同窓会は予定の時間が瞬く間

に過ぎ、琵琶湖周航の合唱

で第一部は閉会。第二部はグラ

ムや在校時の写真が映写され、

歓談が一層盛り上がりました。

宴もたけなわの中、現在も活

躍中の川端 安藤、土川君のス

ピーチ、関西三八会、ゲンキ会、

三八ゴルフ会の現状報告があり、

終宴近くに校歌、応援歌の齊唱

の後、茂木次回代表幹事の挨拶。

次回の同窓会は三年後となりま

した。

同窓会は予定の時間が瞬く間

に過ぎ、琵琶湖周航の合唱

で第一部は閉会。第二部はグラ

ムや在校時の写真が映写され、

歓談が一層盛り上がりました。

宴もたけなわの中、現在も活

躍中の川端 安藤、土川君のス

ピーチ、関西三八会、ゲンキ会、

三八ゴルフ会の現状報告があり、

終宴近くに校歌、応援歌の齊唱

の後、茂木次回代表幹事の挨拶。

次回の同窓会は三年後となりま

した。

同窓会は予定の時間が瞬く間

に過ぎ、琵琶湖周航の合唱

で第一部は閉会。第二部はグラ

ムや在校時の写真が映写され、

歓談が一層盛り上がりました。

宴もたけなわの中、現在も活

躍中の川端 安藤、土川君のス

ピーチ、関西三八会、ゲンキ会、

三八ゴルフ会の現状報告があり、

終宴近くに校歌、応援歌の齊唱

の後、茂木次回代表幹事の挨拶。

次回の同窓会は三年後となりま

した。

同窓会は予定の時間が瞬く間

に過ぎ、琵琶湖周航の合唱

で第一部は閉会。第二部はグラ

ムや在校時の写真が映写され、

歓談が一層盛り上がりました。

宴もたけなわの中、現在も活

躍中の川端 安藤、土川君のス

ピーチ、関西三八会、ゲンキ会、

三八ゴルフ会の現状報告があり、

終宴近くに校歌、応援歌の齊唱

の後、茂木次回代表幹事の挨拶。

次回の同窓会は三年後となりま

した。

同窓会は予定の時間が瞬く間

に過ぎ、琵琶湖周航の合唱

で第一部は閉会。第二部はグラ

ムや在校時の写真が映写され、

歓談が一層盛り上がりました。

宴もたけなわの中、現在も活

躍中の川端 安藤、土川君のス

ピーチ、関西三八会、ゲンキ会、

三八ゴルフ会の現状報告があり、

終宴近くに校歌、応援歌の齊唱

の後、茂木次回代表幹事の挨拶。

次回の同窓会は三年後となりま

した。

同窓会は予定の時間が瞬く間

に過ぎ、琵琶湖周航の合唱

で第一部は閉会。第二部はグラ

ムや在校時の写真が映写され、

歓談が一層盛り上がりました。

宴もたけなわの中、現在も活

躍中の川端 安藤、土川君のス

ピーチ、関西三八会、ゲンキ会、

三八ゴルフ会の現状報告があり、

終宴近くに校歌、応援歌の齊唱

の後、茂木次回代表幹事の挨拶。

次回の同窓会は三年後となりま

した。

同窓会は予定の時間が瞬く間

に過ぎ、琵琶湖周航の合唱

で第一部は閉会。第二部はグラ

ムや在校時の写真が映写され、

歓談が一層盛り上がりました。

宴もたけなわの中、現在も活

躍中の川端 安藤、土川君のス

ピーチ、関西三八会、ゲンキ会、

三八ゴルフ会の現状報告があり、

終宴近くに校歌、応援歌の齊唱

の後、茂木次回代表幹事の挨拶。

次回の同窓会は三年後となりま

した。

同窓会は予定の時間が瞬く間

に過ぎ、琵琶湖周航の合唱

で第一部は閉会。第二部はグラ

ムや在校時の写真が映写され、

歓談が一層盛り上がりました。

宴もたけなわの中、現在も活

躍中の川端 安藤、土川君のス

ピーチ、関西三八会、ゲンキ会、

三八ゴルフ会の現状報告があり、

終宴近くに校歌、応援歌の齊唱

の後、茂木次回代表幹事の挨拶。

次回の同窓会は三年後となりま

した。

同窓会は予定の時間が瞬く間

に過ぎ、琵琶湖周航の合唱

で第一部は閉会。第二部はグラ

ムや在校時の写真が映写され、

歓談が一層盛り上がりました。

宴もたけなわの中、現在も活

躍中の川端 安藤、土川君のス

文 武 両 道 悲 願 達 成 大 舞 台

彦根東高校野球部後援会 会長 中村 善一郎

●進路指導課

彦根東高校は、一八七六年（明治九年）創立、県内有数の進学校で、生徒数九五五人が学んでいます。彦根東高校野球部は創部百十九年にして、見事悲願の夏の甲子園初出場の快挙を成し遂げてくれました。

春は、二〇〇九年に「二十一世紀枠」で出場し、過去三回の経験があります。また、アルプス・スタンドを赤く染めた（赤鬼魂）大応援団が最優秀賞を受賞しました。応援に参加していただきた皆々様に深甚なる謝意を申し上げます。

平成二十一年第81回センバツ高等学校野球大会の出場記念碑を設置しました。我が母校は、長年の夢であり

理由で推薦される制度であり、野球部の努力はもとより、全ての生徒の不断の頑張りと、多くの先輩が築かれてきた伝統が確

めました。この出場記念碑を設置しました。

今回、平成二十五年第九十五回全国高校野球選手権記念大会の出場記念碑を設置しました。

また、以前に出場しています昭和二十五年第二十二回選抜高等学校野球大会の出場記念碑で、近畿大会で優勝したチームで甲子園出場を決定されました。

平成二十一年第81回センバツ高等学校野球大会の出場記念碑を設置しました。

野球部後援会は皆様から、いざなうに努力されることを期待しています。

野球部後援会は皆様から、いざなうに努力されることを期待して

ています。

本校では、こうした世間の流れとは異なり、「合格しそうな」大学というよりむしろ、「入学

したい」大学への志望を貫く生徒が多いように感じます。大学に行く目的がはつきりしていればこそこの考え方であり、我々も

最後の最後まで、全力で支援したいと考えています。現

在生たちも新課程に基づいた模擬試験などに例年よりも早く着手して、傾向を探り、対策を講じようとしています。

文部省の方針では、数年後をめどに現行のセンター試験を廃止し、いわゆる「一発勝負」ではない受験のありかたを研究するようです。また、英語については共通テストではなく、英検やTOEICなどを何度も受け、指定された基準を一度で

受け、いわゆる「一発勝負」ではない受験のありかたを研究するようです。また、英語についても上回ればセンターテストを満点

格の変更について

◎金龜会会員名簿(平成26年編)について

本年1月に刊行した金龜会会員名簿(平成26年度編)を購入忘れの金龜会会員の皆様に販売します。ご希望の方は金龜会事務局(231-0888)までお申込みください。金額は送料込みで4200円です。

◎彦根東高百一十年史の販売価格の変更について

昨年4月の金龜会常任理事会で彦根東高百一十年史の販売価格を2000円にすることが決定されました。ご希望の方は金龜会事務局(231-0888)までお申込みください。なお、これからは金龜会総会・卒業式・入学式等で販売したいと思つて

母校だより



第95回全国高等学校野球選手権大会



第25回選抜高等学校野球大会



第22回選抜高等学校野球大会

震工事の関係で十分利用できないう状況で対外試合が多くなっています。費用負担も多くなっています。野球部後援会は、今後も微力ながら支援を続けていく所存です。皆様には、今後とも変わぬご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

グランードが耐震工事の関係で十分利用できない状況で対外試合が多くなっています。費用負担も多くなっています。野球部後援会は、今後も微力ながら支援を続けていく所存です。皆様には、今後とも変わぬご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

今年度も九月二十六日にキャラ教育の一環として、一二年生を対象に社会のさまざまな分野で活躍しておられる方々を招いての講演会を実施しました。この企画は一昨年度から始まつたものであり、今年度は本校の第三十九回(平成三年卒)の伊藤滋朗氏(日本医科大学精神科病院)にプロデュースをお願いし、滋賀県立大学の松嶋秀明氏、聖泉大学の富川拓氏、長野県立短期大学の野口暢子氏、日本郵便社内弁護士の鳥越雅文氏、ビジコムジャパンの仲谷博安氏、Chemical Design建築事務所の奥村俊慈氏、京都大学大学院工学研究科の小森雅晴氏、東京医

科歯科大学の早尾弘子氏から示されているようですが、受験の平等性や健全な高校教育の観点からこの問題を考える



☆お知らせ☆



と、実現に至るにはかなりの議論が必要になるのは明らかです。昨夏「甲子園出場」という形で「文武両道」を全国に轟かせた本校の教育方針が、根底から搖さぶられることになりかねません。今後の展開を注視していく必要があるようです。

社会にあまり接していない生徒にとって、実社会で活躍されている先輩方の言葉は、とても刺激的なものであり、大変熱心に耳を傾けていました。後輩たちが職業観や人生観を学ぶ大変良い機会になりました。

唆に富んだ講話をいただきました。

部活動

平成 25 年度 大学 合格 者 数

() 内は平成25年3月卒の現役

国公立大学			滋賀県立大	13	(10)
北大	3	(3)	京都府立大	5	(5)
筑波大	1		京都府立医大	3	(1)
横浜国立大	5	(3)	大阪市立大	3	(3)
新潟大	1	(1)	大阪府立大	8	(3)
金沢大	10	(8)	神戸市外大	1	(1)
福井大	4	(1)	国公立大合計	192	(124)
岐阜大	5	(4)			
静岡大	4	(4)	私立大学		
名古屋大	7	(3)	青山学院大	2	(2)
三重大	4	(2)	慶応大	6	(4)
滋賀大	17	(15)	上智大	2	(2)
滋賀医大	7	(6)	中央大	6	
京都大	11	(4)	東京理大	4	(1)
京都工芸繊維大	4	(4)	立教大	2	(2)
京都教育大	1		早稲田大	9	(6)
大阪大	13	(9)	京都産業大	12	(9)
大阪教育大	1	(1)	京都女子大	46	(43)
神戸大	14	(12)	京都薬大	8	(7)
岡山大	5	(2)	同志社大	77	(39)
広島大	6	(3)	同志社女子大	28	(26)
徳島大	1	(1)	佛教大	23	(23)
九州大	2	(1)	立命館大	219	(154)
熊本大	2	(1)	龍谷大	48	(34)
札幌医大	1		関西大	24	(15)
国際教養大	2		関西学院大	13	(5)
岐阜薬科大	2	(1)	私立大合計	645	(450)



定时制

本校定時制課程は、今年度三十一名の新入生を迎へ、復学生を含めて、一年生は三十六名となり、全校生徒あわせて百十名でスタートしました。教員は二名が転出し、新たに二名が転入して、昨年同様八名の体制で、生徒の指導にあたっています。社会が急速に変化し、定時制高校の役割は、これまでの、勤労青少年の教育の場から、不登校経験者や全日制高校の中途退学者の学び直しの場に変化してきました。

本校におきましても、厳しい雇用環境の中、仕事をしながら、学習に励む生徒もおりますが、中には、目的意識を失い、学校生活に前向きに取り組めない生徒も見受けられます。昭和二十三年に設置された定時制課程も、今年度で六十五年目を迎えますが、昨年度に発表された県立高校再編計画により、平成二十八年度末をもって課程を閉じることが決まりました。

しかしな

しかしながら、学校では、在校生

つてひます。

卷之三

Quellen

27

A black and white photograph of a woman standing outdoors. She is wearing a dark, knee-length dress and holding a small sign or card in front of her. The sign has Japanese text on it: '向日葵の花' (Kibana no hana) at the top and 'ようかげ' (Yōkage) below it. The background shows some foliage and possibly a building.

100

空のくも

赤坂

卷之三

100

三

卷之三

卷之三

卷之三





左端筆者、左から3番目 脇村春夫氏(前日本高野連会長)

平成25年8月8日午前9時、創部119年目の夏に、95回を迎える全国高等学校野球選手権大会への出場を遂に成し遂げた、我が母校野球部の入場行進を、私は甲子園球場の一塁側ベンチの最前列で、目頭が熱くなるのを見守つていました。私は平成25年度より、日本高等学校野球連盟理事を務め、大会本部員として、この場に立つておりました。隣には、大垣日大高校の野球部責任教師小森年展君(彦根東高校野球部OB)、私の5年後輩・元日本高等学校野球連盟事務局長)が開会式直後の初戦を戦うべく、ベンチ入りしていました。お互い、この場に立ち合えた巡り合わせに、選手ならびに指導して頂いた部長・監督や関係の先生方への感謝の思いで一杯でした。

「栄冠は君に輝く」と「大会行進曲」に乗つての母校の入場行進は、多くの野球部OBはじめ、野球部関係者によつて、脈々と受け継がれてきた彦根東高校の文武両道の



右端筆者

滋賀県高野連理事長・平成19年から滋賀県高野連会長・副会長)と東高校での選手時代の思い出は、入部した年のチームが、その前年、秋季近畿大会に出場し選抜大会の補欠校に選ばれた程の力のあるチームで、甲子園への道もそう遠くな

いと感じていました。その年の夏、私は1年生ながら5番ライトで大

会に出場させて頂き、大会初戦の対大津商戦では接戦でもつれた試

合となりましたが、勝負を決める

ホームランを打つことが出来、勝

利しました。チームは勢いに乗り

決勝戦まで進出しましたが、善戦

空しく伊香高校に2-0で敗れ、

準優勝に留まりました。3年生、

最上級生のチームも春の県大会準

優勝、夏こそはと臨みましたが、

3回戦で敗退、甲子園の夢崩れま

した。その後しばらくの間、野球

部は部員も集まらない低迷時代が

続いたように思います。

〈指導者の道〉

大学卒業後、教職の道に進み昭

和51年から16年間、母校野球部の

監督を務めさせていただきました。

この間、何度も甲子園出場へのチャ

ンスがありましたが、残念ながら

あと一步のところで実現には至り

ませんでした。応援して頂いた多

くの皆様に、恩返し出来なかつた

ことが悔やされます。若い監督時

代は勝つことばかりに思いが走り、

指導が空回りしていたようですが、

1年間の練習で身に付けた選手の

力を、如何にすれば本番で發揮さ

せてやる事が出来るか、を考え始

めたところから、甲子園への距離は

縮まつたようを感じます。結局、

甲子園出場はなりませんでしたが、

多くの野球部OBが県下だけでなく

全国でも高校野球の指導者とな

り活躍してくれるようになつたこ

とがこころの助けとなつております。

〈健闘むなしく〉

初出場の今大会での試合は残念

ながら、全国ベスト4に輝いた花

巻東に健闘むなし9対5で敗れ

ましたが、後半打撃も振るいよく

点数を奪い、次代のチームに繋が

ることを願っています。

文武両道さらなる磨きを 〜創部119年の夏に思う〜

北村 雅敏(東17)

野球が甲子園出場にやつと至つたのだからという実感で感無量でありました。

思い起こせば、私は47年前、彦

和41年(43年)として、監督(昭

和48年(50年)信楽工業・昭和51年

(平成3年彦根東高校・平成4年

(平成7年彦根工業)として、連

盟の役員(平成9年から平成15年

ホームランを打つことが出来、勝

利しました。チームは勢いに乗り

決勝戦まで進出しましたが、善戦

空しく伊香高校に2-0で敗れ、

準優勝に留まりました。3年生、

最上級生のチームも春の県大会準

優勝、夏こそはと臨みましたが、

3回戦で敗退、甲子園の夢崩れま

した。その後しばらくの間、野球

部は部員も集まらない低迷時代が

続いたように思います。

（指導者の道）

大学卒業後、教職の道に進み昭

和51年から16年間、母校野球部の

監督を務めさせていただきました。

この間、何度も甲子園出場へのチャ

ンスがありましたが、残念ながら

あと一步のところで実現には至り

ませんでした。応援して頂いた多

くの皆様に、恩返し出来なかつた

ことが悔やされます。若い監督時

代は勝つことばかりに思いが走り、

指導が空回りしていたようですが、

1年間の練習で身に付けた選手の

力を、如何にすれば本番で發揮さ

せてやる事が出来るか、を考え始

めたところから、甲子園への距離は

縮まつたようを感じます。結局、

甲子園出場はなりませんでしたが、

多くの野球部OBが県下だけでなく

全国でも高校野球の指導者とな

り活躍してくれるようになつたこ

とがこころの助けとなつております。

（健闘むなしく）

初出場の今大会での試合は残念

ながら、全国ベスト4に輝いた花

巻東に健闘むなし9対5で敗れ

ましたが、後半打撃も振るいよく

点数を奪い、次代のチームに繋が

ることを願っています。



北村監督慰労会と後援会有志の懇談会 平成4年

平成二十六年度 金龜会総会

彦根・湖東・湖北支部総会

日時	平成二十六年五月二十五日(日)
会場	彦根・湖東・湖北支部総会
記念講演会	14時(受付12時45分)
	15時

講演題	彦根東高校木造校舎 多目的ホール
講師	早稲田大学政治経済学術院 教授
白木三秀氏(東18回)	「企業のグローバリゼーションと人材のグローバリゼーション」 (仮題)



17時より

懇親会

(彦根ビューホテル(旧彦根プリンスホテル))

0749-26-1111

会費 七千円(当日徴収)

●ご出席の方は同封ハガキをご返送ください●